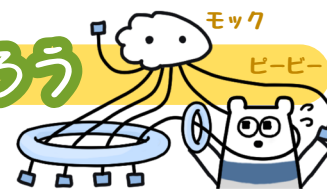


# Vol.03 クラウドPBXのネットワーク構成を知らう

閉域網が導入されている場合のOmnia LINK構成例を紹介！

なるほど！  
コールセンターシステム  
1枚で分かる！  
グラフィック編



## オフィスとクラウドPBXのネットワーク構成例

クラウドプラットフォームにあるクラウドPBXと企業の拠点をつなぐ方法は、インターネットだけじゃないよ！

Omnia LINKはGoogle Cloud上に構築されているよ

# Omnia LINK

外部から通信内容を覗かれないようにするんだよ

## VPNとは？

VPN (Virtual Private NetWork) は、企業の離れた拠点間や自宅から社内ネットワークへの安全な通信を確立するための技術。

各PCとクラウド環境との間にVPNを使用し、インターネット経由で接続

## 閉域網とは？

インターネットには接続されておらず、外部からはアクセスできない「閉じられた」通信ネットワーク。高いセキュリティが確保できる。また「ギャランティ型」なら通信品質も保証される。

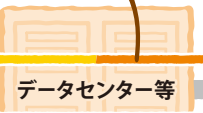


閉域網とクラウド環境をインターネットを経由せずに接続

閉域網はインターネットとは隔絶された世界なんだ  
企業の複数拠点をつなぐのに使われているよ！

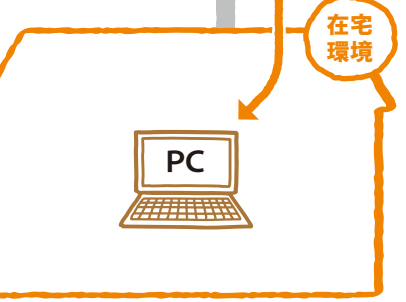
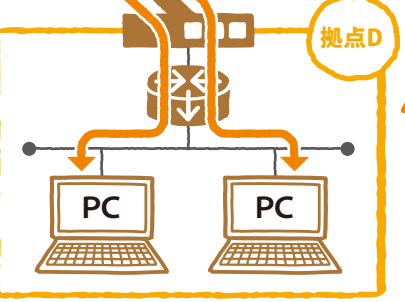
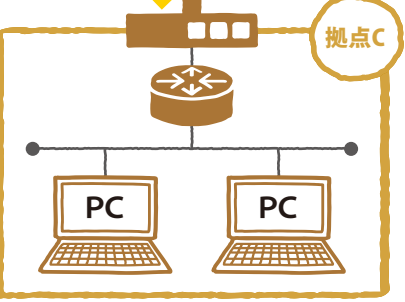
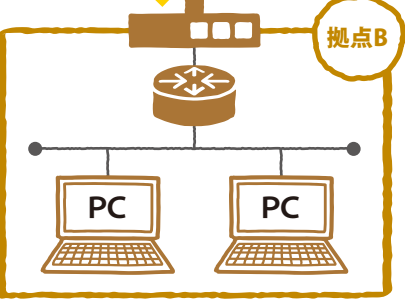
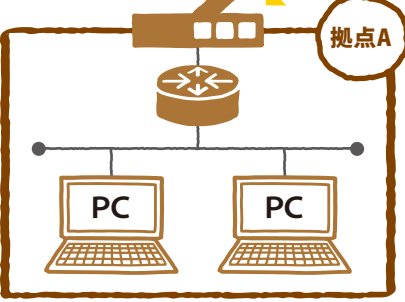
閉域網からインターネットへの出入り口とクラウド環境の間にVPNを使用し、インターネット経由で接続

## 通信キャリアの閉域網



インターネット

閉域網とインターネットの出入り口だよ



**閉域網とクラウド環境をダイレクトに接続**  
主なメリット：高いセキュリティ、通信品質が保証される（ギャランティ型）  
主なデメリット：導入に時間とコストがかかる

**閉域網＋インターネットVPNで接続**  
主なメリット：新規設備が不要、低コスト  
主なデメリット：通信品質が保証されない

**インターネットVPNで接続**  
主なメリット：インターネット回線でクラウドPBXが利用可能、低コスト  
主なデメリット：通信品質が保証されない、各PCにVPN設定が必要

※この図では、閉域網がある場合のネットワーク構成の一例を紹介しています。

**Point!** クラウド＝インターネット経由 ・「クラウドPBXはインターネット経由で利用する」と言われることが多いが、閉域網を利用しインターネットと隔絶された環境を作ることでもできる。  
…とは限らない ・もちろんインターネット経由での利用も可能。既存設備とニーズに応じて選択しよう。